

## 玉川ダム放流設備の特色

### 放流設備据付の合理化

堤体コンクリートの打設の合理化にあわせ、放流設備据付の工期短縮を計りました。1例として、コンジットゲートの放流管等の据付は、通常ケーブルクレーンによる直接吊込みで約50日かかるところを、現地仮工場で大きなブロックとし、堤体上での作業をへらすことにより、22日で施工することができました。

### 酸性河川対策

玉川は酸性河川であるため、放流設備のうち常時接水している箇所は全てSUS304等の不銹鋼を採用、あわせて表面の不動態化処理を行い、メンテナンスを容易にしています。



### 放流設備の主要諸元

設備名称	目的	設備諸元
コンジットゲート	洪水期間において計画高水流量2800m <sup>3</sup> /sのうち2600m <sup>3</sup> /sを調節し、200m <sup>3</sup> /sの放流を行う。	主ゲート：高圧ラジアルゲート 2.9×3.0m 2門 揺動型油圧シリンダー方式 開閉速度 0.3m/min 副ゲート：高圧ローラゲート 4.7×5.57m 2門 ワイヤーロープウインチ式 (1M1D) 開閉速度 巻上 1.0m/min 巻下 2.0m/min 設計水深 約56m
オリフィスゲート	非洪水期(融雪期を含む)における水位維持調節を目的として計画高水流量2800m <sup>3</sup> /s時に200m <sup>3</sup> /sの放流を行う。	主ゲート：高圧ラジアルゲート 4.0×3.5m 1門 揺動型油圧シリンダー方式 開閉速度 0.3m/min 副ゲート：高圧ローラゲート 4.0×6.167m 1門 ワイヤーロープウインチ式 (1M1D) 開閉速度 巻上 0.5m/min 巻下 1.0m/min 設計水深 約24m
クレストゲート	異常洪水流量3,500m <sup>3</sup> /s時に4門で2,800m <sup>3</sup> /sの放流を行う。	ラジアルゲート 8.6m×12.365m 4門 ワイヤーロープウインチ式 (1M2D) 開閉速度 0.3m/min
表面取水設備	かんがい・発電・工業・上水道の用水供給を目的として、最大取水量66.1m <sup>3</sup> /sの表面取水および利水放流を行う。	直線多段式ローラゲート(ベルマウス付、3段)1基 ワイヤーロープウインチ式 (2M4D) 開閉速度 0.3m/min 保安ゲート：フラップ内蔵型スライドゲート 2門 制水ゲート：高圧ローラゲート 1門
利水放流設備		主ゲート：ジェットフローゲート 1門 φ 2,400mm 副ゲート：リングホロウゲート 1門 φ 2,400mm

